



2026年3月期 通期

決算説明資料

ヨネックス株式会社

証券コード:7906

2026年5月12日

1. 2026年3月期 通期決算	3
2. セグメント概況	8
3. 2027年3月期 業績予想	15
4. 配当	16
5. Appendix	17

— 2026年3月期 決算ハイライト

売上高

1,636 億円

前期比

+18.3%

営業利益

165 億円

前期比

+16.7%

親会社株主に帰属する 当期純利益

120 億円

前期比

+14.2%

売上高

- スポーツ市場が堅調な中、契約選手の活躍を活かした情報発信や「Head to Toe(頭からつま先まで)」での提案、販売チャネル強化等に取り組み、連結売上高は過去最高値を更新
- バドミントンでは、主力市場のアジアを中心に競技人気が続く中、需要も堅調に推移
- テニスでは、国際大会での選手活躍を背景にブランド認知が高まり、販売が伸長

営業利益

- 原材料価格の上昇や為替影響等があったものの、増収効果により売上総利益は増益
- 広告宣伝費や人件費等の販管費は増加したものの、売上総利益の増加が販管費の増加を上回り、過去最高益を計上

一 連結業績

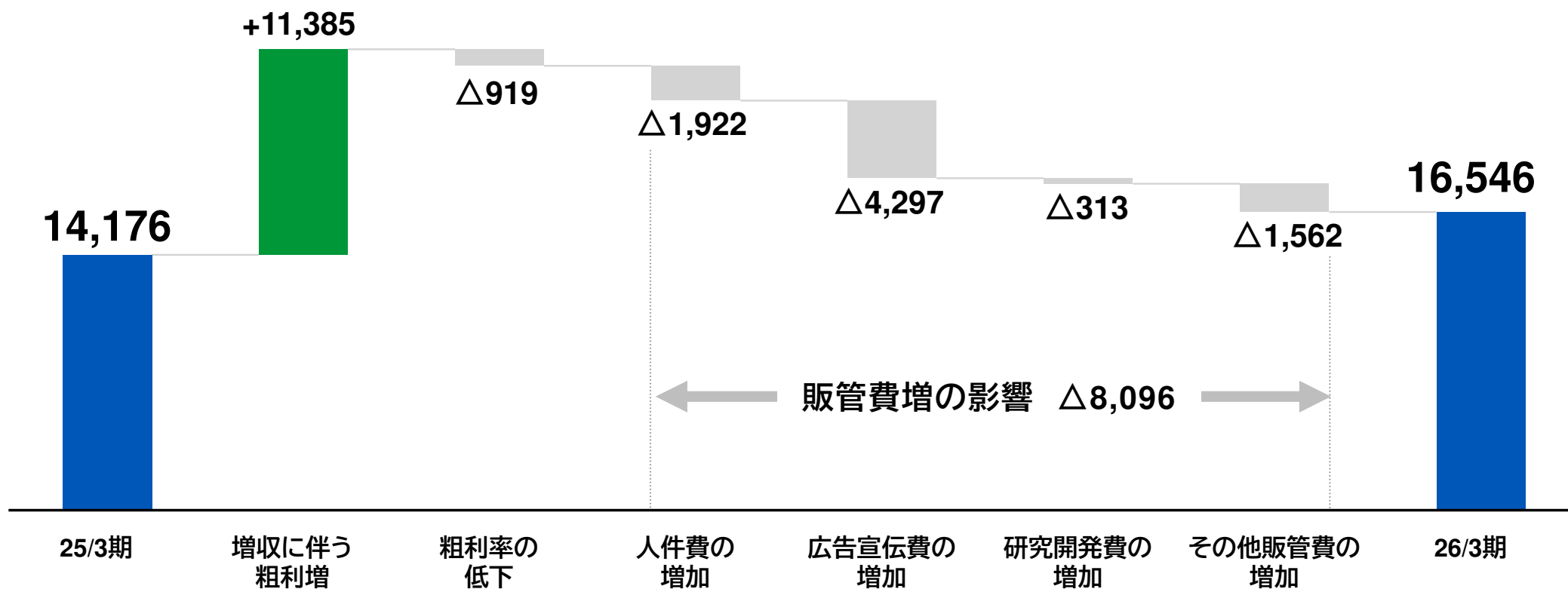
(百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期		増減率 (増減額)	2026年3月期 通期予想 (2025年11月7日修正)
		実績	売上比		
売上高	138,276	163,643	—	+18.3% (+25,367)	162,000
売上総利益	62,061	72,527	44.3%	+16.9% (+10,465)	—
販管費	47,884	55,980	34.2%	+16.9% (+8,096)	—
営業利益	14,176	16,546	10.1%	+16.7% (+2,369)	16,200
経常利益	13,964	16,316	10.0%	+16.8% (+2,352)	15,600
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,591	12,092	7.4%	+14.2% (+1,501)	11,600
1株当たり当期純利益(EPS)	122.96円	141.42円	—	+18.46円	135.76円
自己資本利益率(ROE)	16.3%	16.2%	—	△0.1pt	—

一 連結営業利益 増減分析

粗利率は低下も増収により粗利が増加。販管費は、ブランド認知拡大を目的としたマーケティング活動や国際大会での選手活躍を活かした情報発信による広告宣伝費や人件費が増加

(百万円)



一 連結貸借対照表

有形固定資産および有利子負債は、事業拠点整備のための不動産取得およびテニスラケット新工場関連の設備投資と、それらに伴う借入により増加

● 資産

	2025年3月末	2026年3月末	増減額
現預金	29,478	34,312	+4,834
受取手形・売掛金	20,003	22,655	+2,651
棚卸資産	20,005	24,196	+4,190
有形固定資産	30,607	37,423	+6,816
無形固定資産	1,725	1,452	△272
その他	7,731	8,580	+849
資産合計	109,551	128,620	+19,069

● 負債・純資産

(百万円)

	2025年3月末	2026年3月末	増減額
買掛金	10,402	11,115	+713
有利子負債	10,213	17,402	+7,188
その他	19,508	19,362	△146
負債合計	40,124	47,880	+7,755
自己資本	69,201	80,493	+11,291
非支配株主持分	224	247	+22
純資産合計	69,426	80,740	+11,313
負債純資産合計	109,551	128,620	+19,069

一 連結キャッシュ・フロー

グローバル成長戦略(GGS)に基づく成長投資に備えるため、必要な手元資金を確保

(百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	増減額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,978	9,485	△3,492	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,765	△10,035	△4,270	<ul style="list-style-type: none"> ・事業拠点整備のための不動産取得 ・テニスラケット新工場関連設備投資
フリー・キャッシュ・フロー	7,213	△549	△7,762	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,614	4,501	+7,115	<ul style="list-style-type: none"> ・借入による収入
現金及び現金同等物に係る 換算差額	1,220	785	△435	
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,820	4,737	△1,082	
現金及び現金同等物の残高	29,000	33,738	+4,737	

一 セグメントの概要

日本・アジア・北米・ヨーロッパの4つの地域別セグメントから成るスポーツ用品事業と、スポーツ施設事業で構成

(百万円)

セグメント		2026年3月期 実績		連結売上高 構成比	業績計上対象	
		売上高	営業利益		販売	製造
スポーツ用品 事業	日本	64,092	3,962	39.2%	<ul style="list-style-type: none"> ヨネックスジャパン(日本国内向け) 海外代理店向け※ 	<ul style="list-style-type: none"> 新潟工場 東京工場 ヨネックス精機
	アジア	85,562	11,864	52.3%	<ul style="list-style-type: none"> ヨネックス中国 ヨネックス台湾 	<ul style="list-style-type: none"> ヨネックス台湾 ヨネックスインド ヨネックステクニファイバー(タイ)
	北米	7,358	256	4.5%	<ul style="list-style-type: none"> ヨネックス北米(アメリカ・カナダ) 	
	ヨーロッパ	6,077	506	3.7%	<ul style="list-style-type: none"> ヨネックスドイツ ヨネックスイギリス 	
スポーツ施設事業		552	△22	0.3%	<ul style="list-style-type: none"> カントリークラブ、ゴルフ練習場、テニスクラブの運営 	

※ 代理店を経由して販売している地域: 東南アジア・インド・韓国・フランス・オーストラリア等

一 セグメント別売上高への為替影響

一部通貨の円高による為替換算のマイナス影響は下期の円安推移により限定的となり、売上高の伸長により増収

為替レート	1RMB	1TWD	1USD	1EUR	1GBP
25/3期 (1-12月)	21.01円	4.71円	151.57円	163.94円	193.68円
26/3期 (1-12月)	20.81円	4.79円	149.70円	168.99円	197.24円
前期比	△1.0%	+1.7%	△1.2%	+3.1%	+1.8%

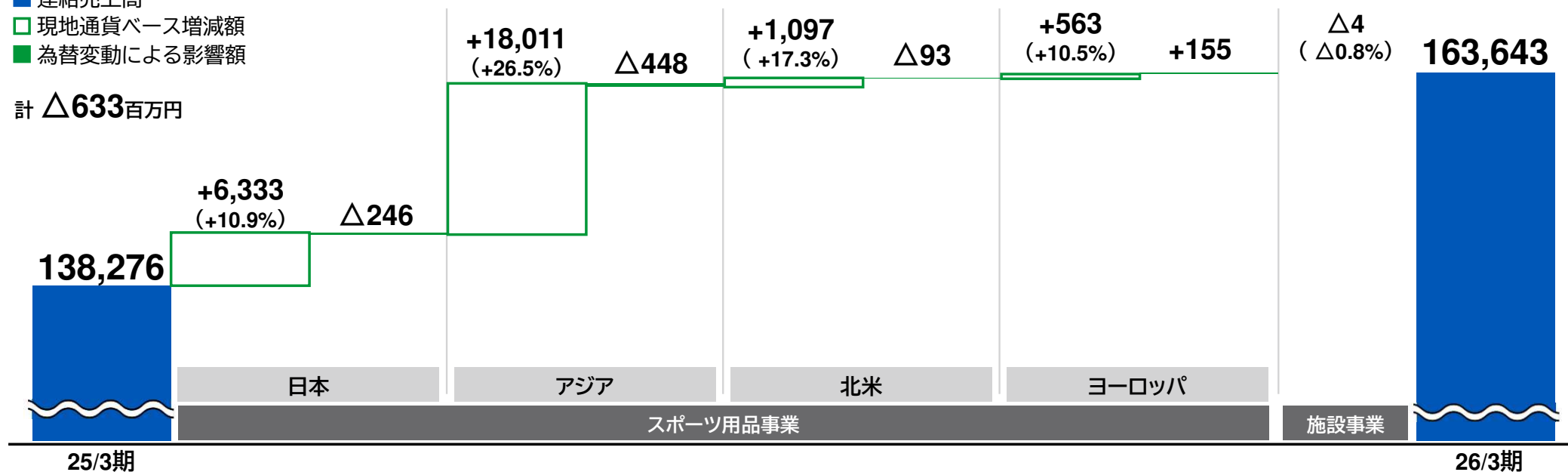
(百万円)

■ 連結売上高

□ 現地通貨ベース増減額

■ 為替変動による影響額

計 △633百万円



— スポーツ用品事業 日本

売上高

64,092百万円 前期比
+10.5%

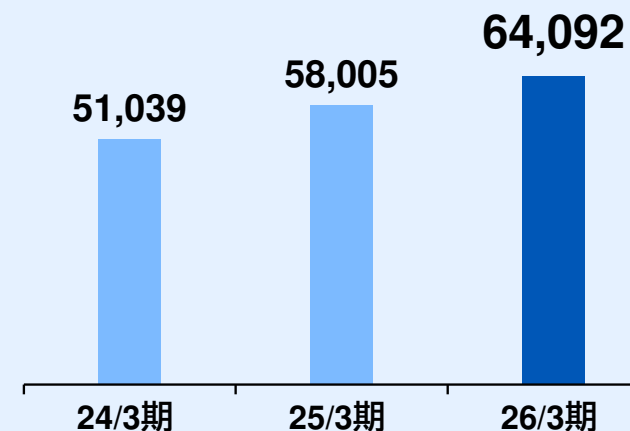
国内

バドミントンは需要が引き続き堅調で、ラケットでは幅広い価格帯で販売が増加したほか、シャトルコックやストリングの販売も好調に推移し、増収。テニスは、ラケット、シューズ、ストリングを含む各種用品で販売が伸長

海外代理店

バドミントンはアジアでの需要が底堅く推移したほか、欧州でも競技活動の活発化を背景に販売が伸長。テニスでは契約選手の活躍を活かしたマーケティング活動が奏功し増収

(百万円)

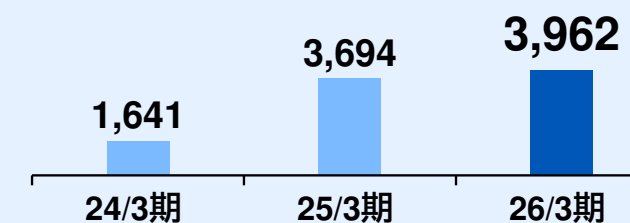


営業利益

3,962百万円 前期比
+7.3%

増収効果により売上総利益は増加。販管費はグローバルでの広告宣伝費や人件費等により増加したものの、売上総利益の増加が販管費の増加を上回り増益

(百万円)



スポーツ用品事業 アジア

売上高

85,562百万円 前期比 +25.8%

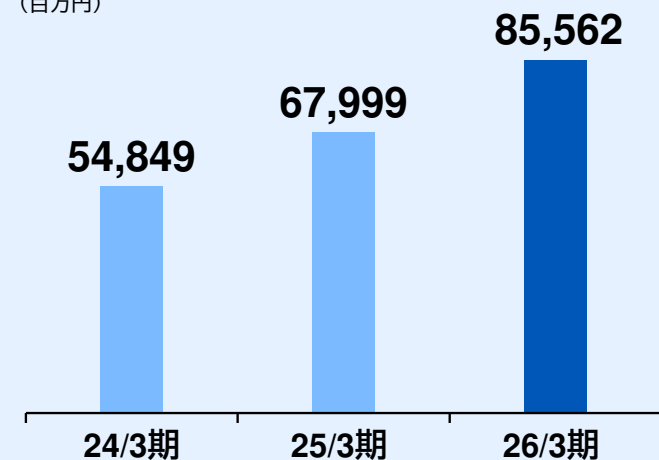
中国

バドミントン市場が引き続き堅調。草の根販促活動や「Head to Toe」提案強化に注力。バドミントン用品では幅広い製品の販売が増加したほか、ウェアやバッグを含むその他用品の販売も伸長。テニスでは国際大会公式球への採用を活かしたマーケティング施策を展開し、販売が伸長

台湾

バドミントン市場の活況や国際大会における契約選手の活躍を背景に、バドミントンラケットやシャトルコック等の販売が伸長

(百万円)



営業利益

11,864百万円 前期比 +22.2%

増収により売上総利益は増加。中国子会社を中心にマーケティング活動強化に伴う広告宣伝費が増加したものの、売上総利益の増加がこれを上回り増益

(百万円)



● 為替レート

	2025年3月期	2026年3月期	前期比		2025年3月期	2026年3月期	前期比
1RMB	21.01円	20.81円	0.20円円高	1TWD	4.71円	4.79円	0.08円円安

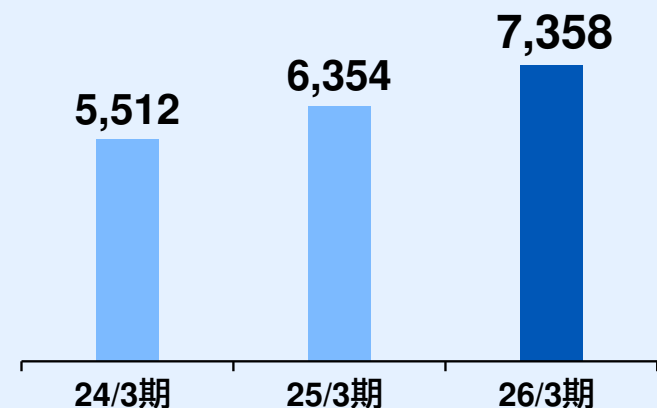
スポーツ用品事業 北米

売上高

7,358百万円 前期比 +15.8%

テニス用品はラケットを中心に販売が堅調に推移。バドミントン用品も競技活動の活性化を背景にラケット等の販売が増加。加えて、ウェア等
 その他用品の販売が伸長。DTCの取り組みとしてECサイトやポップアップストアの展開を通じ、お客様との直接的な接点強化に注力

(百万円)

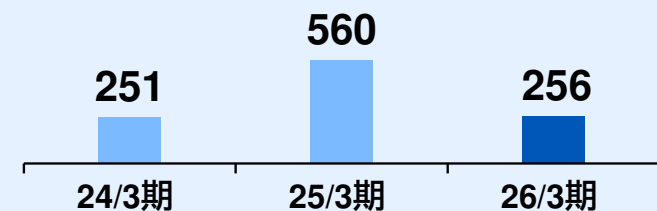


営業利益

256百万円 前期比 △54.2%

増収効果により売上総利益は増加したものの、人件費やマーケティング費用、DTC取り組みに伴う費用負担により販管費が増加し減益

(百万円)



為替レート

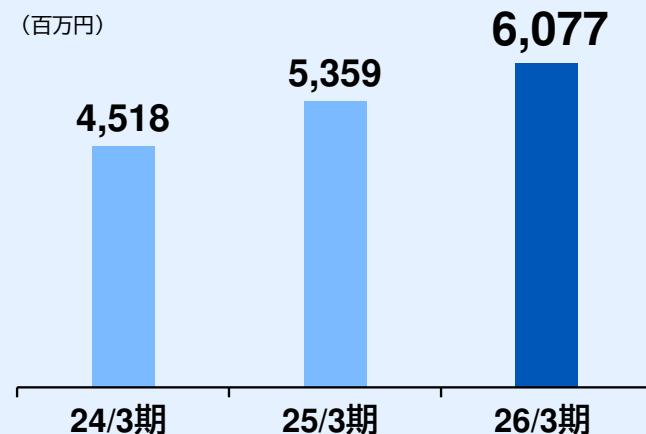
	2025年3月期	2026年3月期	前期比
1USD	151.57円	149.70円	1.87円 円高

スポーツ用品事業 ヨーロッパ

売上高

6,077百万円 前期比 **+13.4%**

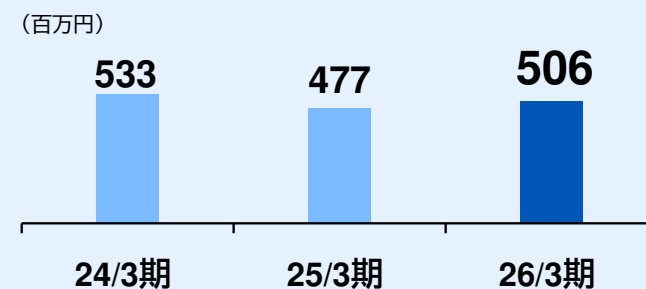
テニス用品は、契約選手の活躍を背景にブランド認知が向上し、ラケットを中心に販売が増加。バドミントン用品においても、国際大会開催等による競技の盛り上がりを背景に需要が堅調に推移し、ラケットを中心に販売が伸長



営業利益

506百万円 前期比 **+6.2%**

増収による売上総利益の増加が人件費やマーケティング活動に伴う広告宣伝費等の販管費の増加を上回り増益



為替レート

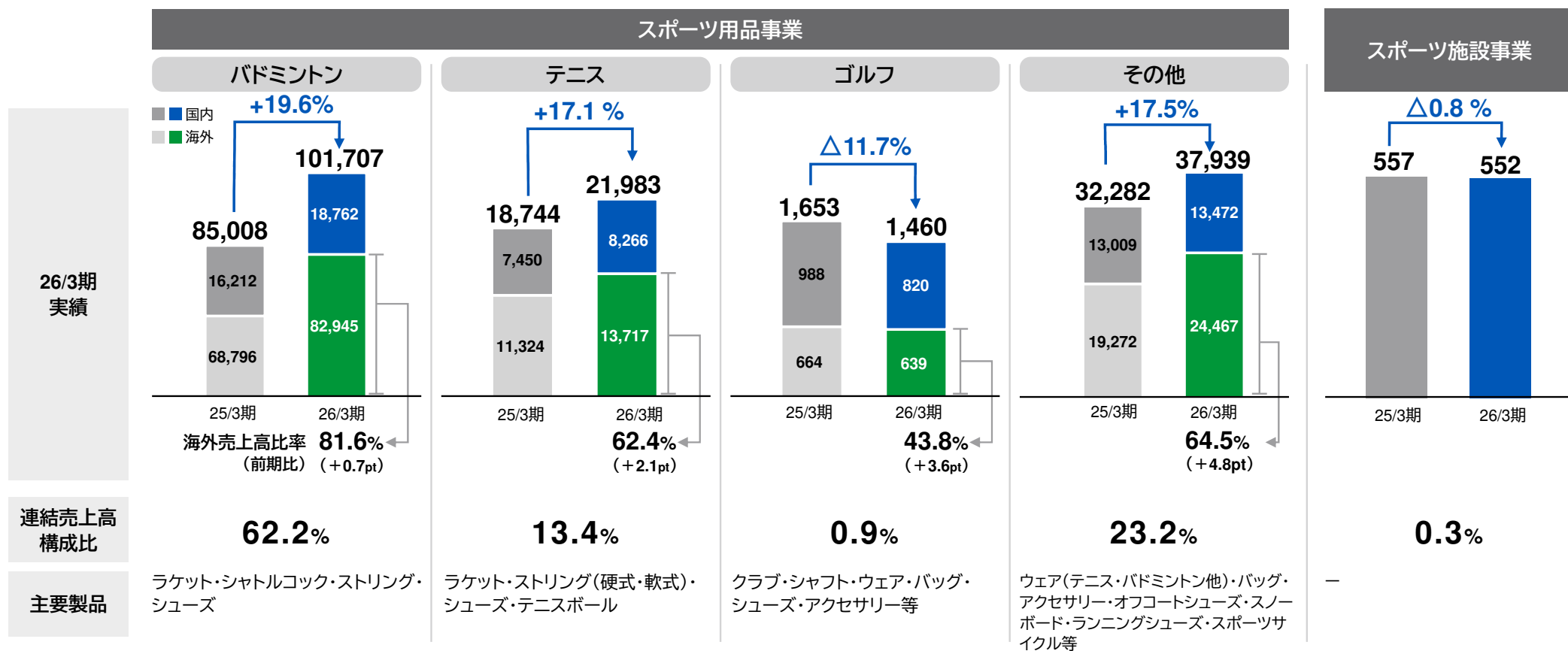
	2025年3月期	2026年3月期	前期比
1EUR	163.94円	168.99円	5.05円 円安

	2025年3月期	2026年3月期	前期比
1GBP	193.68円	197.24円	3.56円 円安

— 種目別売上高

バドミントンは引き続き市場が活性化し、国内・海外ともに増収。テニスも、契約選手の活躍による認知拡大等で国内・海外ともに増収。その他は中国を中心にウェア、アクセサリーの販売が増加

(百万円)



※ 海外代理店向け販売は、海外売上高に含む

— 2027年3月期 業績予想

外部環境は引き続き不透明な一方、スポーツ市場は一定程度堅調に推移する見通し。グローバル成長戦略(GGS)に基づき、成長基盤の強化を進め、持続的な成長を目指す

● 予想の前提

- 地政学リスクや原材料価格、物流費、調達・供給面への影響等により、事業環境は引き続き注意が必要だが、スポーツ市場は一定程度の堅調さを見込む
- GGSに基づく中長期的な成長に向けた基盤づくりを進めながら、グローバルでのお客様拡大や、競技のさらなる発展に向けた取り組みに注力し、持続的な成長を目指す
- グローバルでのブランド認知向上に向けたマーケティング投資と、事業基盤の強化に伴う人件費の増加等を見込む

● 為替レート (期中平均) (円)

	26/3期 実績	27/3期 予想
1RMB	20.81	22.5
1TWD	4.79	4.9
1USD	149.70	155
1EUR	168.99	180
1GBP	197.24	205

(百万円)	2026年3月期 実績		2027年3月期 予想		増減率(増減額)	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	79,532	163,643	89,000	178,000	+11.9% (+9,467)	+8.8% (+14,356)
営業利益	8,847	16,546	9,500	17,800	+7.4% (+652)	+7.6% (+1,253)
営業利益率	11.1%	10.1%	10.7%	10.0%	△0.4pt	△0.1pt
経常利益	8,199	16,316	9,400	17,600	+14.6% (+1,200)	+7.9% (+1,283)
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,371	12,092	7,100	13,200	+11.4% (+728)	+9.2% (+1,107)

一 配当

期末配当は13円、年間配当金は25円を予定。2027年3月期は年間配当金28円を予定

● 基本方針

DOE(株主資本配当率)3%程度を目安とし、中長期的な安定配当を実施

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期 予想	
1株当たり配当金(円)	13.0	16.0	22.0	25.0	28.0	
中間配当金	普通	5.0	7.0	10.0	12.0	14.0
	特別	1.0	—	1.0	—	—
期末配当金	普通	5.0	7.0	10.0	13.0	14.0
	特別	2.0	2.0	1.0	—	—
DOE (%)	2.3%	2.4%	2.9%	2.9%	—	



Appendix

一 参考：国内／海外法人の決算期について

日本セグメント(国内事業・海外代理店向け販売)は3月決算、海外現地法人は12月決算であり、連結決算における対象期間は以下のとおり

● 2026年3月期 通期連結決算の対象期間(会社別)

	2025年												2026年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
日本セグメント (国内+海外代理店向け)				第1四半期 (1Q)			第2四半期 (2Q)			第3四半期 (3Q)			第4四半期 (4Q)		
アジア、北米、 ヨーロッパセグメント (海外子会社)	第1四半期 (1Q)			第2四半期 (2Q)			第3四半期 (3Q)			第4四半期 (4Q)					

一 セグメント別売上高推移

(百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
日本 (国内+海外代理店向け)	37,515	47,750	51,039	58,005	64,092
アジア (子会社)	30,968	49,662	54,849	67,999	85,562
北米 (子会社)	3,194	5,257	5,512	6,354	7,358
ヨーロッパ (子会社)	2,336	3,815	4,518	5,359	6,077
施設事業	469	533	522	557	552
連結売上高	74,485	107,019	116,442	138,276	163,643

日本セグメント

日本国内向け及び海外代理店向け販売
(東南アジア、インド、韓国、フランス、オーストラリア等)

アジアセグメント

中国・台湾・インド・タイ子会社

北米セグメント

北米子会社(アメリカ・カナダ)

ヨーロッパセグメント

イギリス・ドイツ子会社

一 地域別(仕向地別)売上高推移

(百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
日本	28,252	32,146	33,914	38,217	41,874
海外売上高	46,232	74,873	82,528	100,058	121,769
アジア地域	38,095	59,122	66,418	80,677	99,443
北米地域	3,194	5,263	5,512	6,354	7,385
ヨーロッパ地域	3,484	8,662	8,823	10,936	12,122
その他	1,458	1,824	1,773	2,089	2,817
合計	74,485	107,019	116,442	138,276	163,643
海外売上高比率	62.1%	70.0%	70.8%	72.3%	74.4%

日本 | スポーツ施設事業を含む日本事業
 アジア地域 | 中国・台湾・東南アジア・韓国・インド 他
 北米地域 | アメリカ・カナダ

ヨーロッパ地域 | ドイツ・イギリス・デンマーク・フランス 他
 その他 | オーストラリア・中近東・中南米 他

※海外代理店向け販売は、海外売上高に含む

一本資料に関する注意事項

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略等は、当社が作成日時点において把握できる情報から得た判断に基づいています。あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績と大きく異なる可能性がございますことを予めご承知おきくださいますようお願い申し上げます。